

タイ王国訪問記

畑田美智子

2013年11月20～25日、タイ・シュラパコーン大学ラナコムバトム校サラムチャンドラ・アートギャラリーでの日・タイ交流美術展にガラスアート作品「桜の流れ」を出展しました。また、会期中にタイの首相府を表敬訪問し、インラック首相にお会いしました。以下は、その時の写真記録です。



「桜の流れ」を観賞されるタイ・チャトリ チャラームユコン王子殿下

チャトリ殿下と一緒に「桜の流れ」を鑑賞されたアヌワット・ブーンニティ幣会常任理事によると、殿下はこの作品に対して「作品の中に、宇宙を感じる。時間の流れや空間の広がりを感じ、物語性がある。まるで桜の香りがするようで、大変素晴らしい。」と仰っていたとのことです。



タイ首相府パチャラポーン・イントリ ヨンク副事務総長による作品鑑賞



タイ・シュラパコーン大学
芸術部長アマリット教授
と歓談



タイ首相府表敬訪問
インラック首相に挨拶

日本から出展した芸術家 19 人が 4 つのテーブルに分かれ、15 分ずつ、資料を基にスピーチや実演・ワークショップなどの交流を行いました。今回、シュラパコーン大学の選抜された学生 20 人が 5 人ずつ各テーブルのセミナーに参加しました。会場に来た学生は、修士課程の学生が多く、大教室での演者との距離が遠い講義と違い、会場で日本の芸術家の作品を実際に見て、作者の間近でお話を聴くことが出来ました。ある修士課程の女子学生は、私と昼食を共にしながら作品の説明を聞いて大変感激し、「先生の住んでいる日本に行きたい」と言っていました。